

55

P午後

◎ 指示があるまで開かないこと。

(令和2年2月23日 14時20分～17時00分)

注意事項(一般受験者)

1. 試験問題の数は100問で解答時間は正味2時間40分である。
 2. 解答方法は次のとおりである。
- (1) 各問題には1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)では1つ、(例2)では2つ選び答案用紙に記入すること。

(例1) 101 破傷風菌の純粹培養に成功した人物はどれか。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例2) 102 解体新書を完成させた人物はどれか。2つ選べ。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例1)の正解は「1」であるから答案用紙の①をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

101	①	②	③	④	⑤
			↓		
101	●	②	③	④	⑤

答案用紙②の場合、

101	101
①	●
②	②
③	→ ③
④	④
⑤	⑤

(例2)の正解は「3」と「5」であるから答案用紙の③と⑤をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

102	①	②	③	④	⑤
			↓		
102	①	②	●	④	●

答案用紙②の場合、

102	102
①	①
②	②
③	→ ●
④	④
⑤	●

- (2) ア. (例1)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。
 イ. (例2)の質問には1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

注意事項(弱視者)

1. 試験問題の数は 100 問で解答時間は正味 2 時間 40 分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
 - (1) 各問題には 1 から 5 までの 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例 1)では 1 つ、(例 2)では 2 つ選び答案用紙に記入すること。

(例 1) 101 破傷風菌の純粋培養に成功した人物はどれか。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例 2) 102 解体新書を完成させた人物はどれか。2 つ選べ。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例 1) の正解は「1」であるから答案用紙の

問題番号	答
101	

の「答」の欄に

問題番号	答
101	1

と記入すればよい。

(例 2) の正解は「3」と「5」であるから答案用紙の

問題番号	答
102	

の「答」の欄に

問題番号	答
102	3 5

と記入すればよい。

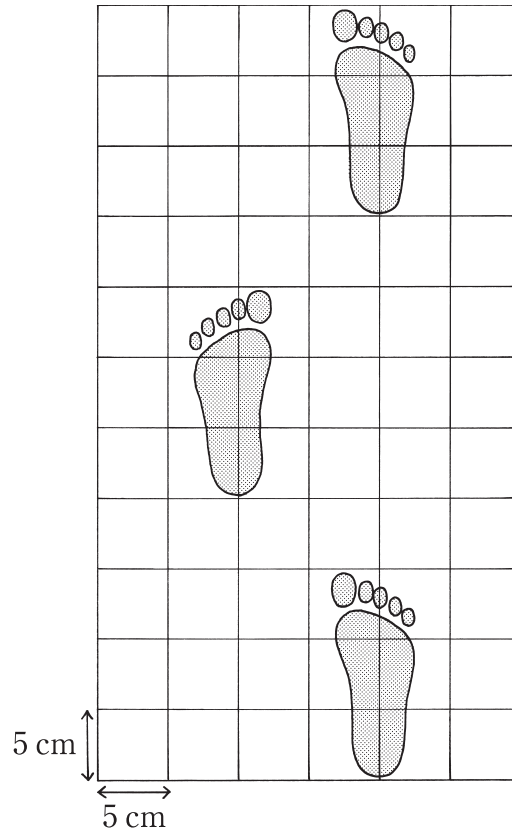
答えの数字は、はっきりと記入すること。不明瞭なものは解答したことになるので注意すること。

- (2) ア. (例 1) の質問には 2 つ以上解答した場合は誤りとする。
イ. (例 2) の質問には 1 つ又は 3 つ以上解答した場合は誤りとする。
- (3) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

◎ 指示があるまで開かないこと。

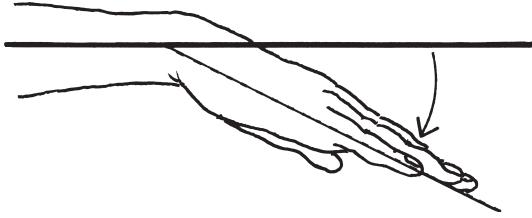
1 小児を裸足で方眼紙の上を歩行させた図を示す。

重複歩距離はどれか。

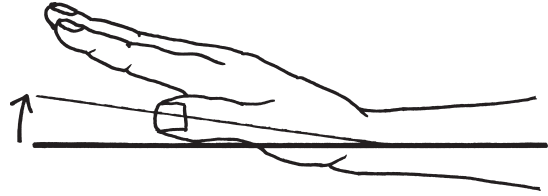


1. 10 cm
2. 20 cm
3. 35 cm
4. 40 cm
5. 55 cm

2 関節可動域測定法(日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会基準による)で、正しいのはどれか。



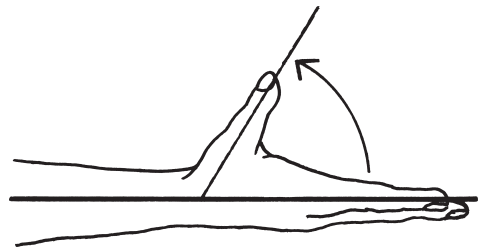
1. 手屈曲



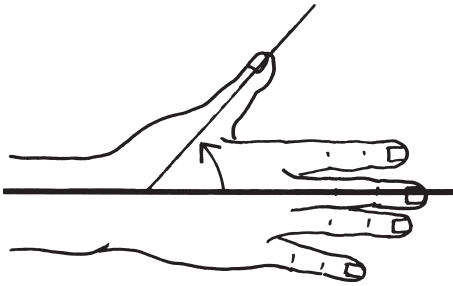
2. 手伸展



3. 手撓屈



4. 母指掌側外転



5. 母指橈側外転

—————：基本軸

—————：移動軸

3 Daniels らの徒手筋力テストによる検査方法を図 1 に、前腕中央部の断面図を図 2 に示す。

図 1 の方法で段階 3 を判定できる筋は図 2 のどれか。

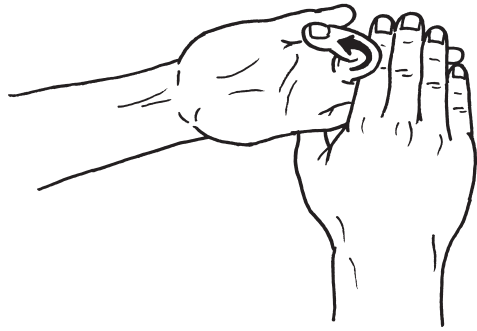


図 1

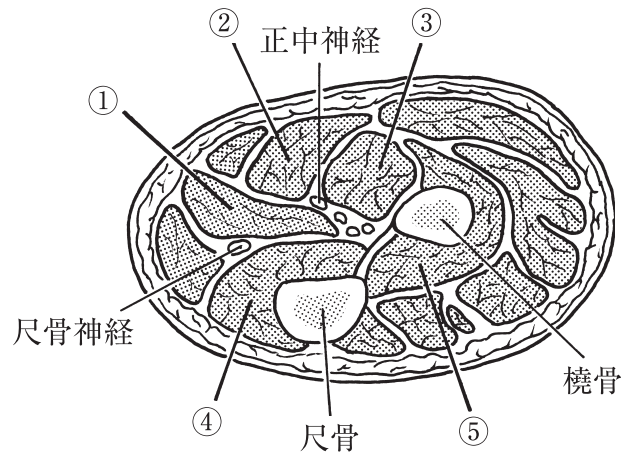


図 2

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④
5. ⑤

4 図に示す方法で筋力測定器を用いて膝関節伸展等尺性筋力を測定したところ、測定値は 28 kgf であった。

膝関節伸展トルクはどれか。



1. 約 6.9 Nm
2. 約 17.2 Nm
3. 約 34.5 Nm
4. 約 51.8 Nm
5. 約 68.6 Nm

次の文を読み 5、6 の問いに答えよ。

5歳の女兒。左股関節痛を訴えている。エックス線写真(別冊No. 1)を別に示す。

別冊

No. 1

5 疑うべき疾患はどれか。

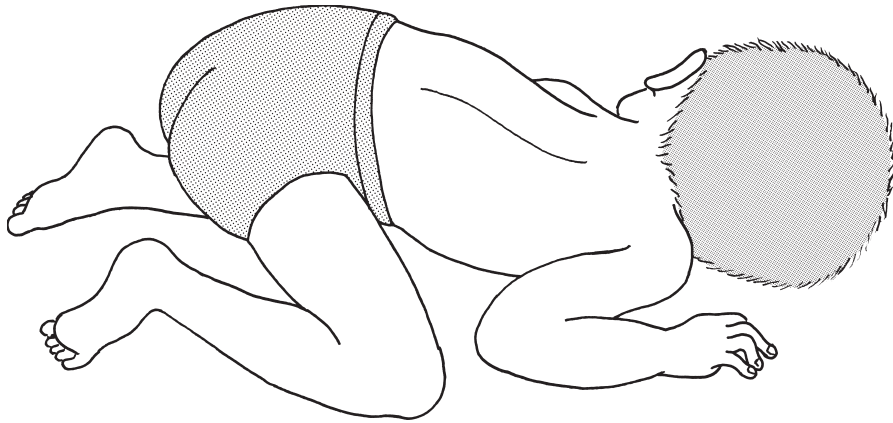
1. 大腿骨頭壊死症
2. 大腿骨頭すべり症
3. 単純性股関節炎
4. 発育性股関節形成不全
5. Perthes 病

6 この疾患について正しいのはどれか。

1. 外傷が原因である。
2. 可動域制限は生じない。
3. 感染症が原因である。
4. 男児に多い。
5. 二次性変形性股関節症になりにくい。

7 8か月の男児。脳性麻痺による痙直型四肢麻痺。腹臥位で図のような姿勢を示す。

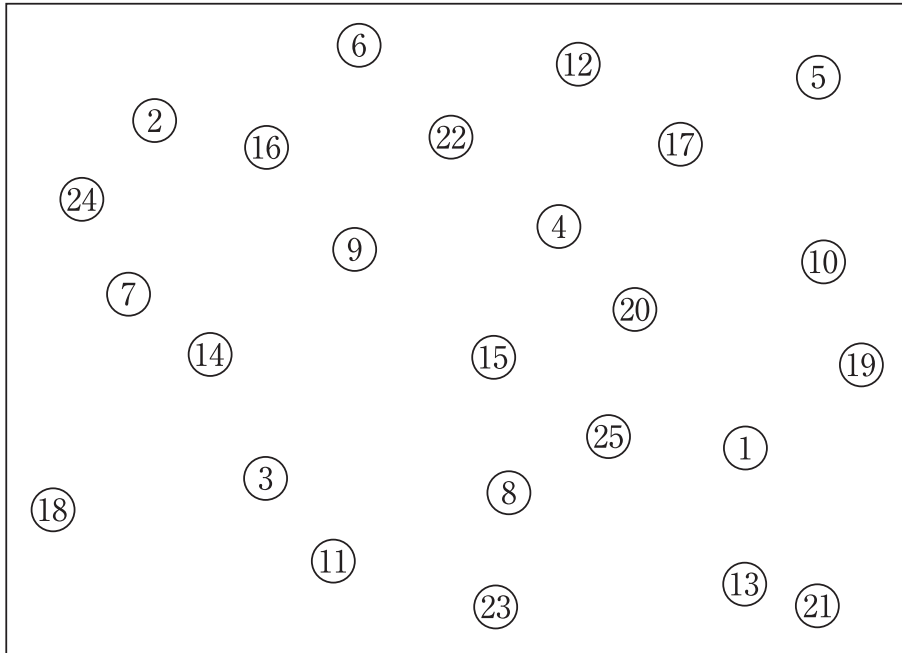
影響しているのはどれか。



1. 緊張性迷路反射
2. 屈筋逃避反射
3. 非対称性緊張性頸反射
4. Moro 反射
5. Landau 反射

8 検査用紙を図に示す。

1 から 25 までの数字を 1 から順にできるだけ速く線を引いてつなぐのに要する時間を測定する検査はどれか。



1. BADS
2. BIT
3. CAT
4. Stroop test
5. TMT-A

9 70歳の男性。脳梗塞による右片麻痺。Brunnstrom法ステージ上肢Ⅲ、下肢Ⅳ。座位にて、肘関節伸展位で肩関節90°屈曲運動を指示したところ、屈曲共同運動パターンがみられた。

この患者で促通すべき筋はどれか。

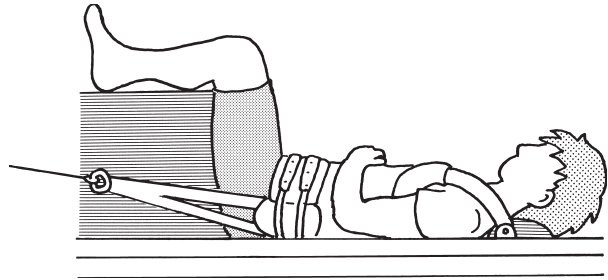
1. 棘下筋
2. 広背筋
3. 大菱形筋
4. 上腕二頭筋
5. 上腕三頭筋

10 牽引の場面を図に示す。

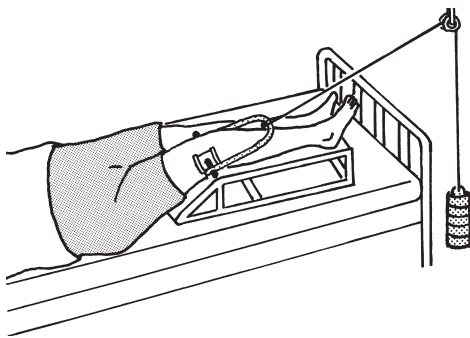
直達牽引法はどれか。



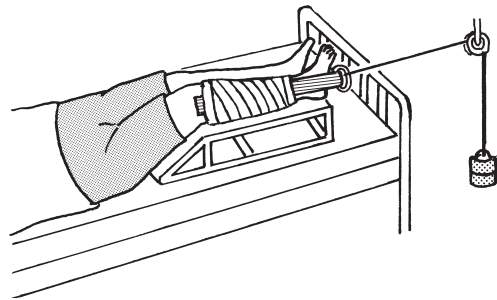
1



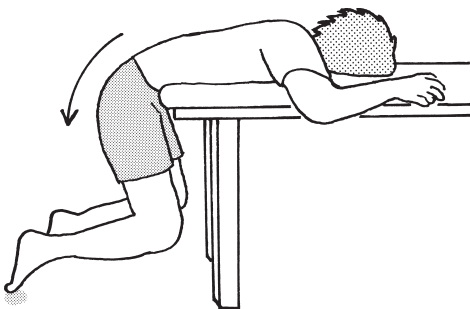
2



3



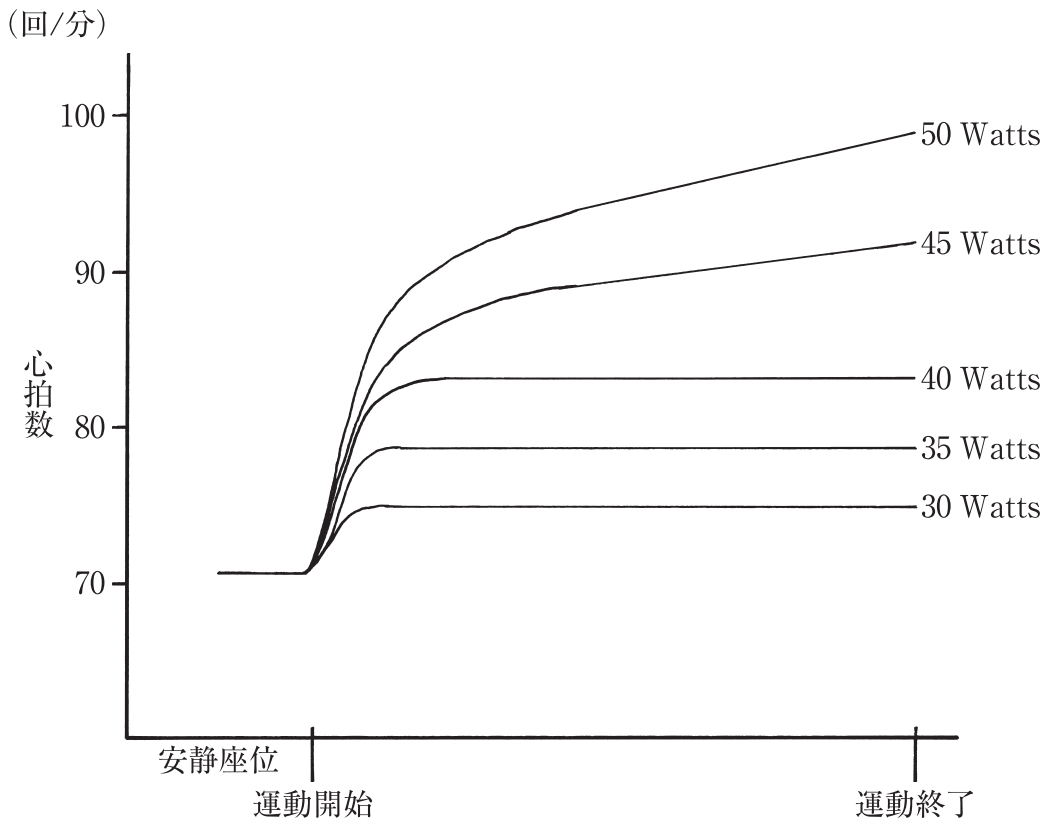
4



5

11 70歳の男性。自転車エルゴメーターを用い負荷強度30 Wattsから50 Wattsの5種類の一定負荷を行わせた時の心拍数変化を図に示す。

この例に全身持久力トレーニングで運動強度を嫌気性代謝閾値(AT)に設定する場合、最も適切な負荷強度(Watts)はどれか。



1. 30
2. 35
3. 40
4. 45
5. 50

12 62歳の女性。約半年前から歩行中にふらつき、しゃべりにくいことに気付いていたが、最近これらの症状が悪化してきた。その他、四肢協調運動障害、頭部CTで小脳および脳幹萎縮を指摘されている。

この症例の評価指標として適切でないのはどれか。

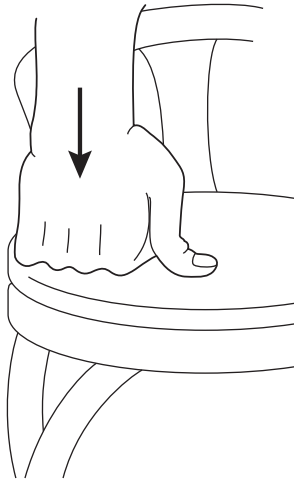
1. FBS
2. 踵膝試験
3. 鼻指鼻試験
4. FMA〈Fugl-Meyer assessment〉
5. SARA〈scale for the assessment and rating test〉

13 8歳の男児。脳性麻痺による痙直型両麻痺。GMFCS レベルⅢであり、床上はバニーホッピングで移動している。学校内の移動は車椅子駆動で自立している。

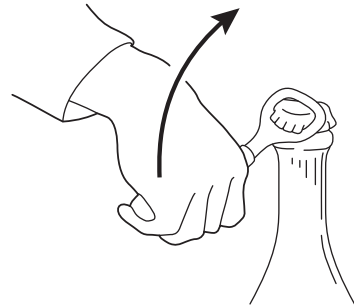
車椅子の設定で正しいのはどれか。

1. ヘッドサポートをつける。
2. 座面高は標準より高くする。
3. 背もたれの高さは肩までとする。
4. 背もたれはリクライニング式にする。
5. フットサポートはスイングアウト式にする。

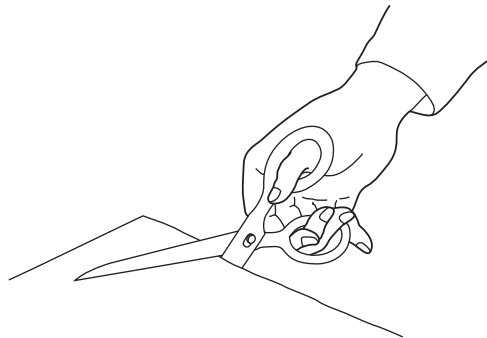
14 関節リウマチ(Steinbrocker のステージⅢ、クラス3)の ADL 指導で正しいのはどれか。



1



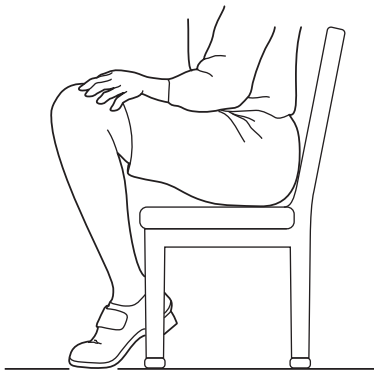
2



3



4



5

15 46歳の女性。BMIは29.0である。両側の変形性股関節症で、股関節周囲の筋力低下と荷重時の股関節痛がある。

理学療法で適切でないのはどれか。

1. 杖を用いた歩行練習
2. 水中歩行による有酸素運動
3. 背臥位での下肢筋のストレッチ
4. 階段昇降による筋力増強トレーニング
5. 自転車エルゴメーターでの筋持久性トレーニング

16 83歳の女性。転倒して右股関節痛を訴えた。エックス線写真(別冊No. 2)を別に示す。

疑うべき疾患はどれか。

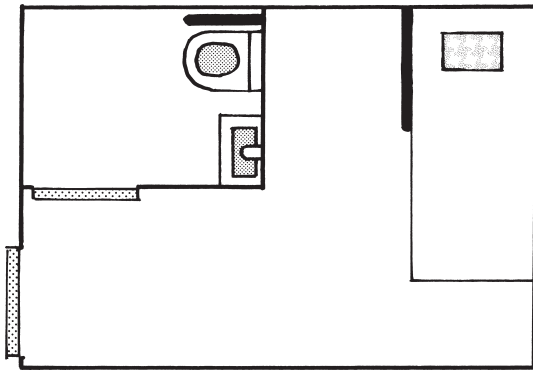
1. 股関節脱臼
2. 大腿骨近位部骨折
3. 恥骨結合離開
4. 恥骨骨折
5. 腸骨骨折

別 冊

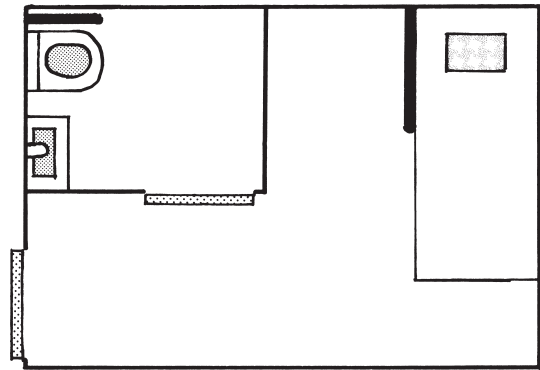
No. 2

17 69歳の男性。脳梗塞による右片麻痺。発症から4週が経過。Brunnstrom法ステージは上肢Ⅱ、手指Ⅱ、下肢Ⅲ。移乗とトイレ動作は手すりを使用して自立、車椅子駆動は自立している。歩行は短下肢装具とT字杖を使用して軽介助が必要であり、病棟では車椅子で移動している。病室を図に示す。

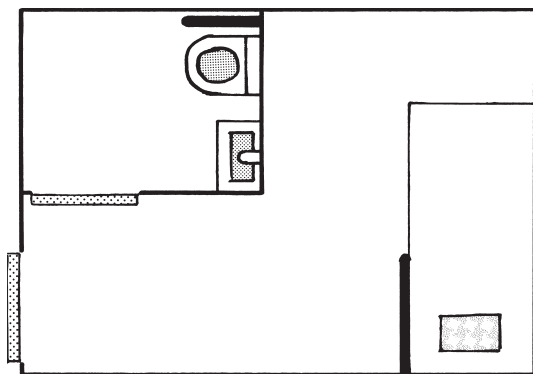
この患者に適切なのはどれか。



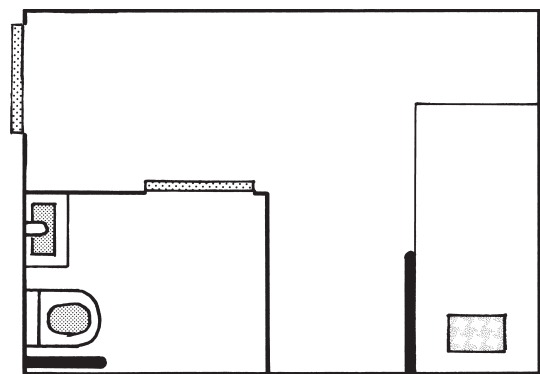
1



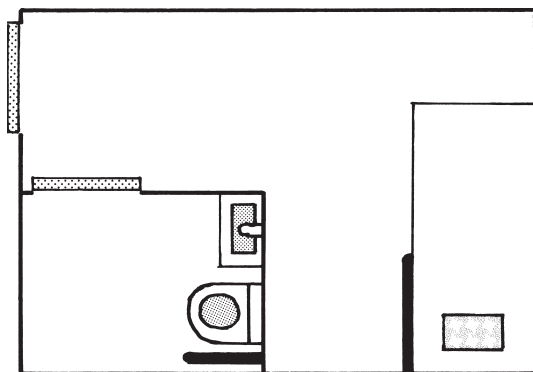
2



3



4



5

— : 手すり、ベッド柵

— : 引き戸

18 17歳の男子。頸髄損傷。プールに飛び込んだ際に、頭部を底に打ちつけて受傷した。受傷8週後のMMT結果を表に示す。

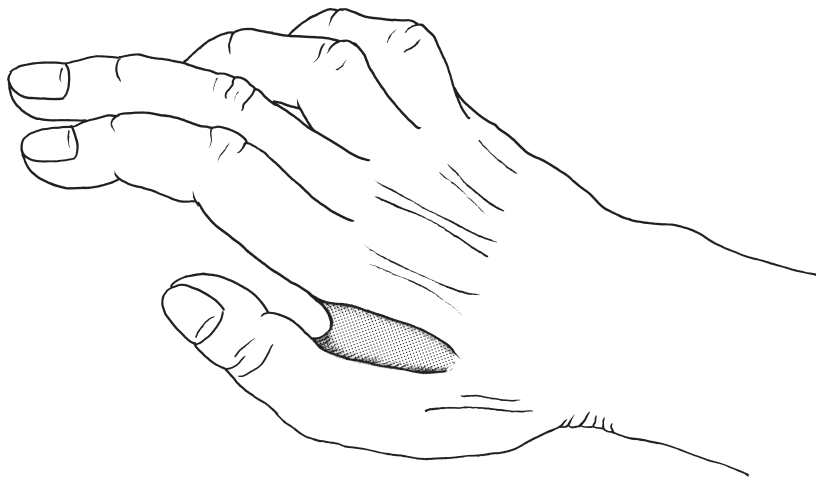
機能残存レベルはどれか。

	右	左
三角筋	4	4
上腕二頭筋	4	4
上腕三頭筋	2	2
橈側手根屈筋	1	2
長橈側手根伸筋	4	5
指伸筋	0	0

1. C4
2. C5
3. C6
4. C7
5. C8

19 66歳の男性。意識障害で右上肢を下に腹臥位で体動困難となっているところを
発見された。両膝、右手首、右肘および右前胸部に多発褥瘡を認め、脱水症を伴う
ことから発症後数日が経過していると考えられた。保存的加療とともに理学療法が
開始され、徐々に意識障害が改善すると、入院後1か月で訓練中に右手のしびれを
訴え、図のような手を呈した。

この患者の右手に適応となるのはどれか。



1. BFO
2. 虫様筋カフ
3. 短対立装具
4. 手関節駆動式把持装具
5. コックアップ・スプリント

20 75歳の男性。脳挫傷。飲酒しトイレで倒れていた。頭部CT(別冊No. 3)を別に示す。明らかな運動麻痺はなく、反復唾液嚥下テスト(RSST)は5回/30秒である。改訂水飲みテスト(MWST)や食物テストでは嚥下後の呼吸は良好でむせもない。義歯を使用すれば咀嚼可能であるが、実際の食事場面では自分で食物を口に運ぼうとしない。

この患者の摂食嚥下で障害されているのはどれか。

1. 先行期
2. 準備期
3. 口腔期
4. 咽頭期
5. 食道期

別 冊

No. 3

21 対応のない正規分布を示す連続変数の2群間の差を検定するとき用いるのはどれか。

1. Fisherの正確確率検定
2. Kruskal-Wallis検定
3. log-rank検定
4. 相関分析
5. Studentのt検定

22 チーム医療において理学療法士が行わないのはどれか。

1. チームのリーダーを務める。
2. 要介護認定申請の意見書を作成する。
3. 栄養指導について管理栄養士に相談する。
4. 人工呼吸器の設定について医師に相談する。
5. 福祉用具の貸与についてソーシャルワーカーに相談する。

23 四肢長と測定部位の組合せで正しいのはどれか。

1. 棘果長 ————— 上前腸骨棘の最下端から内果の最下端まで
2. 手 長 ————— 橈骨茎状突起の最下端から中指の先端まで
3. 上腕長 ————— 肩峰の最前端から肘頭の最突出点まで
4. 前腕長 ————— 肘頭の最上端から尺骨茎状突起の最下端まで
5. 転子果長 ————— 小転子の最上端から外果の外側突出点まで

24 除細動が必要となる可能性が高い不整脈はどれか。

1. I度房室ブロック
2. 心室頻拍
3. 単発の上室期外収縮
4. 慢性心房細動
5. 連続しない心室期外収縮

25 腱反射が亢進する疾患はどれか。

1. 多発性筋炎
2. 多発性硬化症
3. Guillain-Barré 症候群
4. 尿毒症性ニューロパチー
5. Duchenne 型筋ジストロフィー

26 Daniels らの徒手筋力テストで、検査する筋の段階と開始肢位の組合せで正しいのはどれか。

1. 菱形筋群の段階 4 ————— 肘関節伸展位
2. 上腕三頭筋の段階 4 ————— 肩関節屈曲位
3. 大殿筋の段階 3 ————— 膝関節伸展位
4. 大腿四頭筋の段階 2 ————— 股関節屈曲位
5. 後脛骨筋の段階 2 ————— 足関節底屈位

27 Timed Up and Go Test<TUG>で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 開始肢位は立位である。
2. 6 m 先に目印を設置する。
3. 歩行補助具の使用を禁止する。
4. バランス機能の評価方法である。
5. 動作開始から背もたれ座位までの時間を測定する。

28 改訂日本版デンバー式発達スクリーニング検査(JDDST-R)で8か月児が通過率75%以上で可能なのはどれか。2つ選べ。

1. 寝返り
2. 1人で座る
3. 5秒以上座れる
4. つかまって立ち上がる
5. 5秒以上つかまり立ちできる

29 遂行機能障害の診断に用いる検査はどれか。

1. WCST
2. WAIS-III
3. 図形模写
4. Reyの複雑図形検査
5. PASAT(paced auditory serial addition test)

30 下肢の異常と金属支柱付き短下肢装具の足継手の設定との組合せで正しいのはどれか。

1. 尖足 ————— 前方制動
2. 反張膝 ————— 遊動
3. 立脚時の膝折れ ————— 前方制動
4. 下腿三頭筋の痙縮 ————— 遊動
5. 前脛骨筋の弛緩性麻痺 ————— 遊動

31 Bennett 骨折を生じるのはどれか。

1. 月状骨
2. 尺 骨
3. 舟状骨
4. 第 1 中手骨
5. 橈 骨

32 Spurling テストが陽性のとき、疑うべき疾患はどれか。

1. 環軸関節回旋位固定
2. 頸椎症性神経根症
3. 腰椎椎間板ヘルニア
4. 腰椎分離症
5. 腰部脊柱管狭窄症

33 Brunnstrom 法ステージの検査において、ステージと可能な随意運動の組合せで正しいのはどれか。

1. 手指Ⅲ ———— 座位で不十分な全指伸展
2. 上肢Ⅲ ———— 座位で肩関節内転・肘関節伸展・前腕回内
3. 下肢Ⅲ ———— 座位で膝関節屈曲位で踵を床につけたまま足関節背屈
4. 下肢Ⅳ ———— 立位で股関節伸展位での膝関節屈曲
5. 下肢Ⅴ ———— 立位で股関節外転

34 多系統萎縮症に含まれるのはどれか。2つ選べ。

1. Shy-Drager 症候群
2. 進行性核上性麻痺
3. Friedreich 失調症
4. 大脳皮質基底核変性症
5. オリーブ橋小脳萎縮症

35 ミオパチーの原因となるのはどれか。

1. 一酸化炭素中毒
2. 甲状腺中毒
3. 水銀中毒
4. 鉛中毒
5. ヒ素中毒

36 成人期に発症するポリオ後症候群の Halstead らの診断基準にないのはどれか。

1. 感覚障害
2. 関節痛
3. 筋萎縮
4. 筋肉痛
5. 疲 労

37 糖尿病患者において低血糖発作時にみられる症状はどれか。

1. 嘔吐
2. 胸痛
3. 口渴
4. 発汗
5. 腹痛

38 他の筋への影響を最小限にして伸張運動を行う場合、伸張筋と運動方向の組合せで適切なのはどれか。

1. 薄筋 ————— 股関節伸展位、膝関節屈曲位で股関節外転
2. 中間広筋 ————— 股関節伸展位・内外旋中間位で膝関節屈曲
3. ヒラメ筋 ————— 膝関節伸展位、足部内外反中間位で足関節背屈
4. 三角筋前部 ————— 肩関節内外旋中間位、肘関節伸展位で肩関節伸展
5. 長橈側手根伸筋 ————— 肘関節伸展位、前腕回内位、手関節尺屈位で掌屈

39 ランプ負荷法を用いて軽い負荷強度から最大運動強度まで運動強度を漸増した場合、運動強度に比例して直線的に増加するのはどれか。

1. 呼吸数
2. 酸素摂取量
3. 分時換気量
4. 1回心拍出量
5. 二酸化炭素排泄量

40 PTB 式免荷装具の除圧部位はどれか。2つ選べ。

1. 脛骨内側面
2. 脛骨粗面
3. 膝蓋靭帯
4. 前脛骨筋部
5. 腓骨頭

41 筋力増強運動について正しいのはどれか。

1. 等尺性筋力増強運動では1回あたり20～30秒間以上の収縮が必要である。
2. 筋力を維持するためには最大筋力の70～80%以上の抵抗が必要である。
3. 目的としていない筋に代償運動が起こる方がよい。
4. 等速性筋力増強運動では重錘ベルトを使用する。
5. 等尺性筋収縮では血圧上昇に留意する。

42 骨折により骨壊死を起こしやすいのはどれか。

1. 距骨
2. 踵骨
3. 中間楔状骨
4. 内側楔状骨
5. 立方骨

43 腰椎変性すべり症で歩行中に殿部から下肢にかけて疼痛が出現したときの対応で正しいのはどれか。

1. しゃがみこむ。
2. 速度を速めて歩き続ける。
3. 速度を遅くして歩き続ける。
4. 立ち止まって体幹を伸展する。
5. 立ち止まって体幹を左右に回旋する。

44 急性期脳血管障害に対して、積極的に離床を行ってもよいのはどの場合か。

1. JCS 3 桁
2. 重度な運動麻痺
3. 神経症状の増悪
4. 収縮期血圧 220 mmHg
5. 重篤な全身性合併症

45 頸髄損傷の呼吸障害で正しいのはどれか。

1. 肺活量は低下する。
2. 咳の強さは変わらない。
3. 予備吸気量は増加する。
4. 予備呼気量は変わらない。
5. 閉塞性換気障害が生じやすい。

46 8歳の脳性麻痺児が階段昇降時に手すりを必要とし、長距離の歩行や狭い場所を歩くときに介助が必要な場合、GMFCS-Expanded and Revised〈E&R〉のレベルはどれか。

1. レベルⅠ
2. レベルⅡ
3. レベルⅢ
4. レベルⅣ
5. レベルⅤ

47 人工呼吸器装着患者の理学療法で適切でないのはどれか。

1. 離床はベッドアップ60°までとする。
2. 体位変換を行い気道内分泌物の移動を促す。
3. 気管内吸引時は陰圧をかけずに吸引カテーテルを挿入する。
4. 気管内吸引に使用するカテーテルは滅菌したものを使用する。
5. 会話が不可能なため患者が自分のニーズを伝えられるように援助する。

48 歩行(80 m/分)に相当する運動強度に最も近いのはどれか。

1. 1.5 METs
2. 3.5 METs
3. 5.0 METs
4. 6.0 METs
5. 7.0 METs

49 障害者総合支援法に基づくサービスのうち、介護給付にあたるのはどれか。

1. 補装具
2. 相談支援
3. 自立生活援助
4. グループホーム
5. ホームヘルプサービス

50 訪問リハビリテーションで正しいのはどれか。

1. 日常生活の自立支援を目的とする。
2. 通所介護(デイサービス)との併用はできない。
3. 事業所には理学療法士を配置しなければならない。
4. 通所リハビリテーションよりも優先的に利用される。
5. 事業所にはリハビリテーションを実施するスペースが必要である。

51 大脳基底核に分類されるのはどれか。

1. 視 床
2. 上 丘
3. 被 殻
4. 下垂体
5. 齒状核

52 外胚葉から発生するのはどれか。2つ選べ。

1. 乳 腺
2. 卵 巢
3. 甲状腺
4. 松果体
5. 上皮小体

53 中間楔状骨に接するのはどれか。

1. 距 骨
2. 脛 骨
3. 舟状骨
4. 踵 骨
5. 腓 骨

54 筋皮神経支配の筋はどれか。2つ選べ。

1. 肘筋
2. 棘下筋
3. 三角筋
4. 烏口腕筋
5. 上腕二頭筋

55 冠状動脈で正しいのはどれか。

1. 大動脈弁の心室側から出る。
2. 左右の冠状動脈は吻合しない。
3. 左冠状動脈は房室結節に血液を送る。
4. 右冠状動脈は前下降枝と回旋枝に分かれる。
5. 左冠状動脈は心室中隔前方 2/3 に血液を送る。

56 動脈と触知可能な部位との組合せで誤っているのはどれか。

1. 上腕動脈 ————— 上腕二頭筋後内側縁
2. 橈骨動脈 ————— 前腕掌側面の外側遠位部
3. 大腿動脈 ————— Scarpa 三角内
4. 足背動脈 ————— 足背の長母指伸筋腱と長指伸筋腱の間
5. 後脛骨動脈 ————— 外果後方

57 胃について正しいのはどれか。

1. 幽門は食道に連なる。
2. 胃切痕は大弯側にある。
3. 胃体の下端部を胃底という。
4. 噴門は第1腰椎の右側にある。
5. 胃の大弯は大網を介して横行結腸と結合する。

58 泌尿器について正しいのはどれか。

1. 尿管口は膀胱尖に開く。
2. 尿管内部には逆流防止弁がある。
3. 男性の尿道は女性に比べて短い。
4. 男性の尿道は前立腺を貫いている。
5. 内尿道口は膀胱三角の中央に開く。

59 内耳に含まれるのはどれか。

1. 鼓室
2. 耳管
3. キヌタ骨
4. 膜半規管
5. アブミ骨筋

60 Scarpa 三角の内で触知できる筋はどれか。2つ選べ。

1. 大腿直筋
2. 恥骨筋
3. 腸腰筋
4. 内閉鎖筋
5. 梨状筋

61 細胞について誤っているのはどれか。

1. 細胞膜は二重膜である。
2. 細胞膜は主にリン脂質から構成される。
3. ミトコンドリアでは ATP 生成を行っている。
4. リボソームは蛋白質と DNA から構成される。
5. Na^+ - K^+ ポンプにより細胞内の Na^+ は低く保たれる。

62 神経筋接合部における神経伝達物質はどれか。

1. ノルアドレナリン
2. アセチルコリン
3. アドレナリン
4. セロトニン
5. ドパミン

63 Brodmann により決定された皮質領野で一次運動野に相当するのはどれか。

1. 1 野
2. 4 野
3. 17 野
4. 22 野
5. 44 野

64 筋紡錘の感覚神経線維で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. I a
2. I b
3. II
4. α
5. γ

65 心室収縮期に生じているのはどれか。2つ選べ。

1. 三尖弁開放
2. 僧帽弁閉鎖
3. 大動脈弁閉鎖
4. 肺動脈圧低下
5. 肺動脈弁開放

66 脳神経とその働きの組合せで正しいのはどれか。

1. 顔面神経 ————— 軟口蓋の挙上
2. 三叉神経 ————— 下顎の運動
3. 舌咽神経 ————— 舌の運動
4. 舌下神経 ————— 唾液分泌
5. 迷走神経 ————— 口唇閉鎖

67 排尿に関与する神経で正しいのはどれか。

1. 脳における排尿中枢は延髄にある。
2. 外尿道括約筋は下腹神経支配である。
3. 内尿道括約筋は陰部神経支配である。
4. 交感神経路の興奮は膀胱を弛緩させる。
5. 副交感神経路は第 11 胸髄～第 2 腰髄レベルから生じる。

68 男性生殖器系で正しいのはどれか。

1. 勃起中枢は腰髄にある。
2. 陰茎海綿体神経は動脈収縮作用をもつ。
3. 射精は副交感神経の作用を介して起きる。
4. 性的刺激による勃起には辺縁系が関与する。
5. 射精後の精子は女性の膈内で 1 週間程度生存する。

69 嫌氣的代謝の過程で生成される物質はどれか。

1. アミノ酸
2. クエン酸
3. フマル酸
4. ピルビン酸
5. イソクエン酸

70 前腕回内の作用をもつのはどれか。2つ選べ。

1. 上腕筋
2. 腕橈骨筋
3. 上腕二頭筋
4. 上腕三頭筋
5. 橈側手根屈筋

71 筋と足への作用との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 足の長母指伸筋 ————— 背 屈
2. 後脛骨筋 ————— 内がえし
3. 前脛骨筋 ————— 外がえし
4. 第三腓骨筋 ————— 底 屈
5. 長腓骨筋 ————— 背 屈

72 股関節伸展、内転、内旋および膝関節屈曲に作用する筋はどれか。

1. 大腿筋膜張筋
2. 大腿二頭筋
3. 中間広筋
4. 半腱様筋
5. 縫工筋

73 努力吸気時に働く筋はどれか。

1. 腹横筋
2. 腹直筋
3. 外腹斜筋
4. 内腹斜筋
5. 胸鎖乳突筋

74 反射マーカを用いた三次元歩行分析装置で評価が最も困難なのはどれか。

1. 歩幅
2. 歩行率
3. 重心の変化
4. 足底圧分布
5. 関節角度変化

75 尿検査項目とその検査結果が高値となる疾患との組合せで正しいのはどれか。

1. ケトン体 ————— 膵 炎
2. ビリルビン ————— 糖尿病
3. アルブミン ————— 肝硬変
4. ヘモグロビン ————— 心筋梗塞
5. ミオグロビン ————— 横紋筋融解症

76 悪性腫瘍細胞の特徴で誤っているのはどれか。

1. 増殖が速い。
2. 核分裂が多い。
3. 染色体異常が多い。
4. 核/細胞質比が小さい。
5. 未分化型は悪性度が高い。

77 ステロイド薬の長期投与によって生じやすいのはどれか。

1. 腎不全
2. 低血圧
3. 骨粗鬆症
4. 体重減少
5. 高カリウム血症

78 良性の骨軟部腫瘍はどれか。

1. 脊索腫
2. 軟骨肉腫
3. 血管内皮腫
4. 海綿状血管腫
5. 多発性骨髄腫

79 転移・逆転移で適切なのはどれか。

1. 陰性転移の解釈は避ける。
2. 転移は逆転移を誘発する。
3. 逆転移は治療の阻害因子となる。
4. 逆転移は治療者の意識的反応である。
5. 心理治療の目標は陽性転移の出現である。

80 Erikson による成人中期の心理的発達課題はどれか。

1. 勤勉性
2. 同一性
3. 親密性
4. 生殖性
5. 自我の統合

81 心理検査と評価内容の組合せとして適切なのはどれか。

1. SCT ————— 認知機能
2. WCST ————— 自我状態
3. P-F スタディ ————— 認知症介護負担度
4. Rorschach テスト ————— 自己効力感
5. 内田・クレペリン精神テスト ————— 性格・行動面の特徴

82 切断後の幻肢で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 幼児の切断では強く現れる。
2. 四肢末梢部ほど明確に感じる。
3. いったん出現した幻肢は消失しない。
4. 術直後義肢装着法には予防効果がある。
5. 上肢切断よりも下肢切断で強く現れる。

83 Brown-Séguard 症候群で損傷髄節よりも下位の反対側に現れる症状はどれか。

2つ選べ。

1. 運動麻痺
2. 触覚障害
3. 痛覚障害
4. 温度覚障害
5. 深部覚障害

84 脊髄損傷で正しいのはどれか。

1. 受傷直後は尿失禁状態となる。
2. 排尿筋括約筋協調不全は生じない。
3. 残尿が 150 mL では導尿は不要である。
4. 核・核下型神経因性膀胱であれば尿道カテーテル長期留置を行う。
5. 核上型神経因性膀胱であればトリガーポイントの叩打による反射性排尿を試みる。

85 診断において MRI 拡散強調像が最も有用なのはどれか。

1. 頭蓋底骨折
2. 脳室内出血
3. 脳梗塞急性期
4. 脳出血急性期
5. くも膜下出血急性期

86 肩腱板断裂で陽性となるのはどれか。

1. Adson テスト
2. drop arm テスト
3. Finkelstein テスト
4. Phalen テスト
5. Thomsen テスト

87 疾患と頻度の多い症候との組合せで正しいのはどれか。

1. Alzheimer 型認知症 ————— 羽ばたき振戦
2. Huntington 病 ————— 線維束性収縮
3. 多発性硬化症 ————— 舞踏運動
4. 筋萎縮性側索硬化症 ————— 静止時振戦
5. 多系統萎縮症 ————— 起立性低血圧

88 視神経脊髄炎で正しいのはどれか。

1. 再発と寛解を繰り返す。
2. レム睡眠行動異常を生じる。
3. 免疫不全状態で罹患しやすい。
4. JC ウイルス感染により発症する。
5. 抗コリンエステラーゼ薬で症状が改善する。

89 筋強直性ジストロフィーで正しいのはどれか。

1. 5歳までに発症する。
2. 伴性劣性遺伝である。
3. 顔面筋は侵されにくい。
4. ミオトニアがみられる。
5. 認知機能は障害されない。

90 心室中隔欠損症で正しいのはどれか。

1. チアノーゼを生じる。
2. 動脈管が開存している。
3. 卵円孔の閉鎖不全である。
4. 肺血流量は正常時よりも多くなる。
5. 大動脈から肺動脈に直接血液が流れる。

91 β 遮断薬服用中患者の運動負荷量決定に最も適している指標はどれか。

1. PCI
2. Borg 指数
3. Karvonen 法
4. 安静時心拍数
5. 最大予測心拍数

92 血友病の臨床症状で最も多いのはどれか。

1. 関節内出血
2. 血小板数減少
3. 出血時間延長
4. 毛細血管拡張
5. リンパ節腫脹

93 多発性骨髄腫に特徴的でないのはどれか。

1. 貧血
2. 腎障害
3. 易感染性
4. 病的骨折
5. 低カルシウム血症

94 2型糖尿病患者における運動療法の効果で誤っているのはどれか。

1. インスリン抵抗性の増大
2. 血圧低下
3. 血糖コントロールの改善
4. 脂質代謝の改善
5. 心肺機能の改善

95 骨粗鬆症の原因で誤っているのはどれか。

1. 安静臥床
2. 胃切除後
3. 糖尿病
4. ビタミン A 欠乏症
5. 副甲状腺機能亢進症

96 認知症患者に対して行われるのはどれか。2つ選べ。

1. 音楽療法
2. 内観療法
3. 森田療法
4. 精神分析療法
5. リアリティオリエンテーション

97 統合失調症において予後が良いのはどれか。

1. 男性
2. 若年での発症
3. 潜行性の発症
4. 強い陰性症状の存在
5. 明らかな発症誘因の存在

98 うつ病の復職支援プログラムの内容として最も適切なのはどれか。

1. 認知の歪みは修正しない。
2. 服薬自己管理の練習をする。
3. キャリア再構成の検討は行わない。
4. コミュニケーション能力の改善を図る。
5. 配置換えをしないことを前提に職場との連絡調整を行う。

99 解離性障害の治療として正しいのはどれか。

1. 破壊的行動を許容する。
2. 空想の肥大化について指摘しない。
3. 有害な刺激を無理に取り除かない。
4. 速やかに心的外傷の直面化を図る。
5. 病気と治療について明確に説明する。

100 てんかんに伴う精神症状として適切でないのはどれか。

1. 粘着性
2. 爆発性
3. 疾病利得
4. 不機嫌状態
5. もうろう状態